

事例 2 【目標・計画に基づく評価】

目標 6 : 学生への支援を充実させて留学生の受入と学生の派遣を活発にし、大学の国際化を図る。
(責任部局 : 学務部)

計画 6-1 : 各種支援策を充実し、留学生の受入を積極的に進める。

本学では、18歳人口の減少に伴い、日本人学生のみで入学定員を充足することは困難になることが予想されるので、留学生の受入を積極的に進めるために様々な努力を行った。私費外国人留学生の入学試験については、毎年12月に一回だけ行っていたものを、平成22年度入学生向けの入試から3月上旬にも行うこととした。その結果、私費外国人留学生の受入数は、平成21年度の50名から、平成27年度には65名へと順調に増加した(資料6-1-1:留学生数の推移;資料6-1-2:留学生の出身国の割合)。また、入学後の留学生に対し、掲示板等により、奨学金、住宅等に関する情報提供を積極的に行っている。

留学交流課では、1年次生と2年次生の留学生1名に対し、1名の日本人学生のチューター(任期2年)をつけて、学業面及び生活面のケアをするなど手厚い支援策を施している。日本人チューターにアンケートを行ったところ、概ね好評であったことから(資料6-1-3:日本人チューターへのアンケート結果)、国際化が相当程度進められたと考えられる。

資料 6-1-1 留学生数の推移 (名)

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
50	100	30	70	65	62	65

※私費外国人特別選抜での入学者の数

資料 6-1-2 留学生の出身国の割合 [平成 27 年度]

中国	韓国	シンガポール	その他
75%	15%	5%	5%

資料 6-1-3 日本人チューターへのアンケート (平成 25 年度実施)

実施時期 : 平成 25 年 9 月

実施対象 : 日本人チューター (92 名)

有効回答 : 50 (回収率 54 %)

問 1 : チューターをやったことで国際感覚が身につきましたか。

そう思う	まあそう思う	わからない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
40 %	10 %	34 %	14 %	2 %

問 2 : チューターをやった良かったことは何ですか

他国に生まれ育った人といろいろ話すことで異文化についての理解が高まった 30、他国の言語についての知識、技能が高まった 20、その他 10

計画 6-2：学生を海外の大学に積極的に派遣し、国際感覚を身につけさせる。

現在、本学には国際交流協定校が5大学ある（北米 1、中国 3、韓国 1）。本学を休学しないと参加できない長期派遣については、利用者はいなかった。これは、派遣先で取得した単位の読み替え規定がないことも一因と考えられる。なお、学生が自主的に休学して協定校以外に留学している場合、大学としては把握していない。

本学では、平成 16 年度より、英語において4段階（プレ初級、初級、中級、上級）での習熟度別学習を行っている。各学部の卒業要件としては、英語 4 単位の取得が定められており、かつ、中級までの取得が求められている。ここでは、一般的な企業で活躍できるレベルの英語力を身につけることを到達目標としている。

夏休みを利用した協定校のトロント第三国際文化大学（カナダ）への語学研修プログラム（約 2 週間）へは、毎年、150 名程度の学生を派遣している（資料 6-2-2：派遣学生数の推移）。また、事後アンケートによると、82%の学生が「語学力が向上した」と回答しており（資料 6-2-3：派遣学生へのアンケート結果）、国際感覚が養われたと考えられる。

資料 6-2-1：語学研修プログラム実施要項（抜粋）

- ・正味 10 日間の授業と 3 日間の研修旅行の英語教育プログラムをトロント第三国際文化大学が提供しており、毎年 9 月中旬に開講するプログラムを受講する。
- ・1 日目・2 日目：関西国際空港からカナダへの移動 3 日目：オリエンテーション 4 日目～8 日目：授業（1 日 4 コマ） 9 日目：休み 10 日目～14 日目：授業（1 日 4 コマ） 15 日目～17 日目：研修旅行 18 日目：帰国
- ・研修旅行は現地スタッフに連れられて観光体験を通して学習した英語を実践するものである。
- ・費用は 20 万円で、大学が 5 万円補助する。機内食、毎日の朝食、研修旅行中の一部の食事が費用に含まれる。
- ・宿舎は男女別 20 人部屋（ドミトリー）となり、他国の学生等と相部屋になることもある。鍵のかかるロッカーが割り当てられますが貴重品の管理については十分注意すること。
- ・定員は概ね 150 名とする。

資料 6-2-2：派遣学生数の推移（名）

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
135	162	155	149	150	148	153

資料 6-2-3：派遣学生へのアンケート結果（平成 24 年度実施）

実施時期：平成 24 年 10 月
 実施対象：トロント第三国際文化大学への語学研修プログラム参加学生（149 名）
 有効回答：118（回収率 79 %）

問 1：英語力が多少なりとも向上しましたか。

そう思う	概ねそう思う	わからない	あまりそう思わない	そう思わない
32 %	36 %	14 %	18 %	0 %

問 2：国際感覚は身につきましたか。

そう思う	まあそう思う	わからない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
18 %	21 %	58 %	3 %	0 %

問 3：感想を記入してください。

事前の英語レクチャーをもっと充実して欲しかった（同様 40 件）、研修旅行では、案内がよく分からず楽しめなかった（同様 81 件）、単位化して欲しい（同様 52 件）、あまりまじめに取り組んでいない人がいたので指導して欲しい（同様 29 件）